

## 【第152回コロナウイルス対策本部会議】 2月17日

健康福祉部長／6月以降の1週間ごとの県内感染者の推移は、1月1日の週がピークで約1万3,000人。最近では、1月29日の週が約2,300人、2月5日の週は約1,700人。今週の1,000人台は、第7波の一番下がった数字の約1,200人を下回った。今週も緩やかな減少傾向が続いている。感染力が強いXBB.1.5は、県内で未確認。

この1週間の年代別の感染者数は、20代以下が4割、40代以下が6割、高齢者が2割。高齢者施設や医療機関での感染が確認され、高齢者の比率が以前よりは増えた。

本日の感染者数は132人。入院者数は85人、病床使用率は14.5%。うち中等症は29人、中等症の病床使用率は4.9%。重症者はいない。病床使用率は、2月10日に86日ぶりに10%台になった。現在、8日連続で10%台を推移。

引き続き、県民の皆さまには、換気等の基本的な感染防止対策をお願いする。

坂本副知事／換気が一番効果はあるのか。

医療統括監／これまでの事例から、更衣室で感染が広がるなど、機密性が関係する。換気をすると、ウイルスの濃度は空気中で薄くなる。換気は、非常に大事だ。

政策総括監／この1週間、ホテル使用率は1%。在宅における診療体制が充実し、ホテル療養の必要性が低下している。今年度末で、ホテル療養は終了したい。

知事／週当たりの感染者数は1,000人程度が続き、減少している。このままゼロに近づいてほしい。病床使用率は、全国で5番目に少ない。現状を踏まえ、今後の対策を考えたい。

国は、5月8日からの分類の引き下げに向け、医療費の公費負担、医療機関への支援を検討。それが、3月上旬に示される。分かりやすい方針を早めに出してほしい。

また、3月13日からマスクの着用を個人の判断にする。本県では、すでに大人は個人の判断が基本。子供のマスクは、基本的に不要。しかし、様々な事情で着用してもかまわないという運用にした。

国が、今回、学校教育活動にマスク着用を求めないことを基本としたのは、我々の現場の感覚と合っている。しかし、卒業式では、式典はマスクを外し、校歌歌唱時は着用する。来賓、保護者はマスク着用と複雑。分かりやすくシンプルにする方がいい。

危機管理は、メリハリが大事。厳しいときは、一つ一つ丁寧にし、現在の状況では細かい指示は出さない。必要なときは、私から強く申し上げる。現時点では、分かりやすさが大事。

県民の皆さんは、換気等の基本的な感染対策が習慣になったと思う。そのうえで、文化活動や経済活動ができるようになり、うれしく思う。ゲノム解析は、継続しているので、兆候があればアナウンスする。

とはいえ、一定数の感染者が出ている。医療現場、福祉施設、教育現場の皆さんに改めて感謝する。状況を踏まえ、対応していく。